

97年4月
平成7年4月度

日本バフ 健歩会 便り

97年4月
平成7年3月20日

大和古代の宮廷の相克(争い)に彩られた『二上山』は、なだらかなシルエットを描き、山麓から眺める山姿は、ほのかな やすらぎを覚えます。

古くから男女2神の宿る山とされています。

雄岳(517.2m)・雌岳(474.2m)を征し、山頂の歴史と展望を楽しんだ後、凝灰石の奇勝『屯鶴峰』を訪ねます。

ガイド

『二上山』の眺望

西に大きく河内平野が開け、遠く大阪湾から六甲の山々まで一望でき、そして南に、雌岳と、其の後方に、葛城・金剛の連山が重畳として波打ち、壮大な景観を呈する。

大津皇子 (663~686)

天武天皇の第三子として生まれながら、異母兄弟の草壁皇子との間に生じた、皇位継承権の争いに巻き込まれ、無実の反逆罪に問われ、処刑された悲劇の皇子。

屯鶴峰

約13万平方メートルの面積からなり、凝灰岩が流水によって侵食を受け、現在のような地形になったと言われる、二上山が第三紀末期に噴火したときに噴出した灰が湖底に堆積し、厚い凝灰岩層を形成。
ちょうど鶴がむらがっているような景観であるところから、屯鶴峰の名がつけられたとのこと。

日 時

平成7年4月8日(第2土曜日)

集合場所 近鉄南大阪線「二上神社口駅」出口

集合時間 午前9時0分 寝屋川市駅帰着 午後5時頃(約束)

《 近鉄アベノ橋駅 8.05AM発 「橿原神宮前行」準急乗車 「二上神社口駅」下車 8.42着 》

《 又は " 8.25AM " " 9.00着 》

電車賃

寝屋川市駅(230)京橋(160)天王寺(160)何倍野橋(430)・関谷(340)鶴橋(150)

行程

「二上神社口駅」→葛木坐二上神社→二上山雄岳(大津皇子の墓)→(馬の背)→雌岳→岩屋峠→緑の鉄塔→鉄塔34展望所→ダイヤモンドトレイル→穴虫峠→屯鶴峰→近鉄大磯「関谷駅」
《全行程約9キロ》

持ち物

弁当・水筒・軍手・スパッツ・タオル・着替え・雨具(天候に注意)
尻敷き その他

参加者 佐村 小村 吉川
泰羅 行繁 杉村 柳永